



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



「一秒の言葉」。その一言に思いを込めて。

— Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) —

稲の生長は早いものですね。学校の周りの田に苗が植えられ、一週間程経ちました。始めは、水を張った田に近づくとそのほっそりとした姿を見ることができました。今は、離れていてもはっきりとその苗の姿を確認することができます。たった一週間、その成長のスピードには本当に驚かされます。昨日、抜けるような青空が広がり、暑い一日となりました。子供達も汗をいっぱいかいていました。登下校時にもマスクを外し、クールネックの児童をよく見かけます。熱中症対策をしっかりとて元気に学校に来て欲しいと願っています。

さて、最近、次の詩を読みました。

一秒の言葉
小泉吉弘

「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」この一秒ほどの短い言葉で、しあわせにあふれることがある。

「ごめんなさい」この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。

「さようなら」この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになる時がある。

一秒に喜び、一秒に泣く。

一生懸命、一秒。

人は生きる。

言葉は大切だと思います。一言が、相手に勇気を与え、気持ちを奮い立たせることがあります。一言が、相手を二度と立ち直ることができない程、痛めつけることがあります。一言が、自分を慰め、穏やかな気持ちにさせてくれます。一言が自分を嫌な気持ちにさせ、イライラさせることがあります。正に**言葉は諸刃の剣です**。一方では非常に役に立つものの、他方では大きな害を与える危険性もあるということです。

数ある生き物の中には、音を出し、意志を伝え合う生き物はいますが、これほど明確な言葉を話す生き物は、人間しかいません。言葉は当然、世界各地で違いますが、言葉による意思疎通を図るのは人間特有のものです。この言葉が地球上において、人類を進化させたのは間違いありません。これ程素晴らしいある意味「道具」を手に入れた人類は、**この言葉を最大限有効に使いたいものです**。とても大きな話になってしまいましたが、改めて言葉の意味、価値、値打ちを考えてみました。中番小学校では、生活のよりよい習慣として、昨年度より合言葉「あしへそはいこ」、あ（挨拶）、し（姿勢）、へ（返事）、そ（掃除）、は（履き物揃え）、い（椅子入れ）、こ（丁寧な言葉使い）を子供達に呼び掛けています。お家の方でもこの「あしへそはいこ」を子供達に声をかけていただくと、子供達の意識もより高まってくるかと思います。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、緊急事態宣言が解除され、6月21日よりまん延防止等重点措置に移行します。緊急事態宣言は解除されますが、中番小学校としては、引き続き、感染症対策に徹底的に取り組めます。来週からは水泳学習も始まります。コロナ禍での学習は初めてとなります。マスク着用ができないこと、話すことを極力避ける等、いつもとは違う形での実施となります。子供達にとっては、非常に窮屈な学習が予想されますが、対応できる力も大切だと考えています。保護者の皆様には、引き続き、感染症対策についてご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。